

事項	溝底播種マルチ栽培によるだいこんの抽台軽減効果		
ねらい	<p>早期出荷を行うため春期には種されるだいこんは、抽台防止のためトンネルマルチ栽培が行われるが、マルチ栽培と同程度に簡便で資材の使用も少ない溝底播種マルチ栽培により、トンネルマルチ栽培と同程度の抽台軽減効果がみられたので参考に供する。</p>		
指導 参考 内容	<p>1 溝底播種マルチ栽培 畦に10cm前後の溝を作り、この底部には種する溝底播種（平成8年度指導参考資料で紹介）を行い、ポリフィルム等で畦の被覆を行う。</p> <div data-bbox="587 640 1206 775" style="text-align: center;"> </div> <p>2 昇温効果 抽台は、は種後2週間程度の気温が低下すると発生・増加する。最低気温はマルチ栽培では5～9℃程度であるが、溝底播種マルチ栽培ではこれより1～2℃程度高く、発生の多くなる10℃以下の時間が短い。 最高気温は、マルチ栽培では花芽形成を抑制する20℃以上の出現率が65%程度と少ないが、溝底播種マルチ栽培では大半の日が20℃以上になる。</p> <p>3 抽台の軽減 溝底播種マルチ栽培の抽台発生率は、「YRねぶた」及び抽台が発生しやすい品種の「耐病総太り」ともマルチ栽培、べたがけマルチ栽培より低く、トンネルマルチ栽培と同程度の軽減効果がみられる。 被覆資材は透明ポリや崩壊性マルチのキエ丸（透明）等無孔資材の効果が高い。</p> <p>4 生育・収穫時期 は種直後から生育初期の温度は高いが、早期に穴あけするため根部の肥大促進効果は小さく、収穫時期はマルチ栽培と同様な時期になる。</p>		
期待される効果	マルチ栽培と同程度の資材で簡便に、トンネルマルチ栽培並みの時期には種が可能になる。		
利用上の注意事項	<p>1 被覆資材の穴あけはだいこんの2葉頃に行う。 なお、透明ポリやキエ丸は溝内の気温が上がりやすいため高温が続くときは早めに穴を開ける。</p> <p>2 有孔ポリや不織布等通気性の高い資材は抽台軽減効果が低い。</p> <p>3 は種作業は、畦成形機に溝付け板を取りつけて溝を作り、は種後マルチを行う。</p>		
担当	青森県農業試験場 水田利用部	対象地域	県内全域
発表文献等	平成11、12年度青森県農業試験場成績概要集 平成8年度指導参考資料 こまつなの無加温栽培におけるは種及び保温方法		

【根拠となった主要な試験成績】

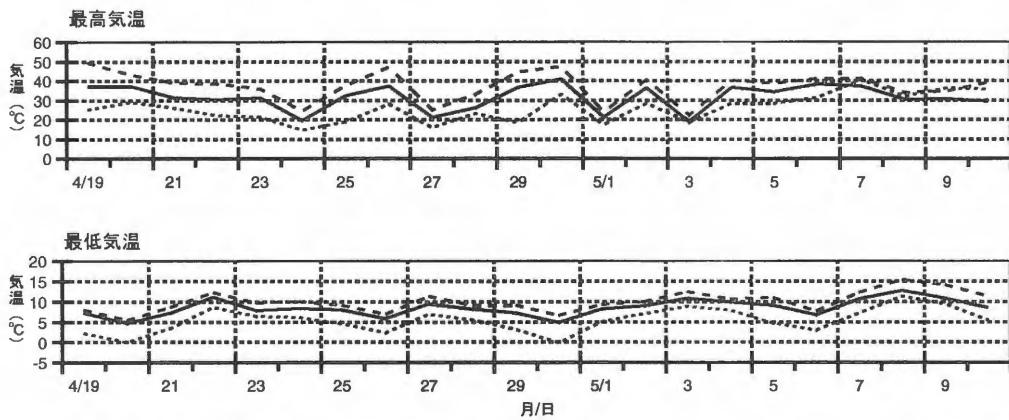


図1 は種直後から生育初期の気温の推移 (平成12年 青森農試)

注) 凡例——溝底播種マルチ、……マルチ、-----トンネル
溝底区の溝深は10cm、穴あけは5月7日

表1 「YRねぶた」の収穫物調査と抽台発生程度 (平成11年 青森農試)

区名	葉長 (cm)	葉数 (枚)	根長 (cm)	根径 (cm)	根重 (g)	抽台率 (%)
溝底播種マルチ	28.5	39.2	27.7	60.2	680	0
トンネルマルチ	34.8	49.9	37.4	68.6	1,123	20.0
べたがけマルチ	30.2	39.1	30.8	66.0	866	0
マルチ	28.1	42.0	28.0	61.5	674	30.0

注) は種日は4月24日

表2 「YRねぶた」の収穫物調査と抽台発生程度 (平成12年 青森農試)

区名	葉長 (cm)	葉数 (枚)	根長 (cm)	根重 (g)	程度別発生割合 (%)		
					未発生	花茎長1cm未満	花茎長1cm以上
溝底播種マルチ	43.7	28.2	31.1	722	40.0	50.0	10.0
トンネルマルチ	44.0	32.5	36.8	1,202	95.0	5.0	0
べたがけマルチ	41.2	27.9	34.1	926	10.0	30.0	60.0

注) 抽台株は花茎長3cm以上であるがいずれの区も3cm以内で、花芽の発育程度の差を見るため花茎長1cmで区分、は種日は4月14日

表3 「耐病総太り」の収穫時期の抽台発生程度 (平成12年 青森農試)

区名	程度別発生割合 (%)			抽台率 (%)
	未発生 (0)	花茎長3cm以内	花茎長3cm以上	
溝底播種マルチ	30.0	15.0	55.0	55.0
トンネルマルチ	38.0	16.0	46.0	46.0
マルチ	0.0	0.0	100.0	100.0

注) は種日は4月18日

表4 資材の差による抽台発生程度 (平成12年 青森農試)

区名	程度別発生割合 (%)		
	未発生	花茎長1cm未満	花茎長1cm以上
透明ポリ	45	20	35
キエ丸	70	25	5
全面有孔	0	20	80
パスライト	0	0	100
ウェーブマルチ	0	0	100

注) 花茎長の区分は表2の注と同様、は種日は4月18日、品種は「YRねぶた」